

# 船場城西 まちづくりかわら版

◇話題満載のHP! ⇒ <http://www.himesen.com/>  
こちらをご覧ください。(右下にスマホ用リンク・QRコード有)

himesen

検索



特定非営利活動法人 **歴史と出会うまちづくり船場城西の会**

事務局 ● 下山裕史 〒670-0035 姫路市琴岡町 266-1 tel:090-3351-7965 fax:079-296-0738

## にしまちや ワークショップ



7月12日(日) 朝から蒸し暑くなる中、にしまちやの裏庭の草刈を行い、スッキリしました。



## 船場御坊 楽市



8月2日(日) 7月2日が雨のため順延した楽市が、この日に開かれ、楽市を待ちわびた人々で賑わいました。その中には、石見姫路市長もおられ、ゆっくりと各店を回り楽しまれました。



## 船場御坊 楽市

9月6日(日) この日は朝から天候に恵まれず、雨の中での開催となりました。しかし、雨にもかかわらず多くの方が訪れ、演奏やいろいろな店での買い物等で賑わっていました。



### 【その他活動記録】

・9/13 「第 37 回ワークショップ」  
9/6 楽市で使用し雨で濡れたため乾かしていたテントの片付け。  
・「提案型協同事業マップ作成作業」に関し、  
マップに登録する候補店舗リストアップ、店舗交渉等の作業を会員各自が個別に活動。

こども論語塾開催  
7/4、8/1、9/5 と毎月第 1 土曜日に開催しました。

### 2015 年 活動予定

◇歴史ウォーク(播磨国風土記ゆかりの地と外濠跡をたずねて) 裏面の景福寺山もコースに入っています。

10月25日(日)9:00~12:30 集合場所/JR姫路駅中央改札口 参加費/500円

◇船場御坊楽市の開催

12月6日(日)、3月6日(日) 開催時間 朝9:00~昼12:00

◇平成の寺子屋「こども論語塾」

毎月第1土曜日 10:00~10:45 船場本徳寺内、白書院 参加費:200円

講師: 山崎みどり先生 ( 姫路生まれ 姫路協大 外国語学部教授 )

### 会費納入のお願い

平成 27 年度の年会費(1000 円)の納付をお願い致します。事務局、楽市受付、又は振込みで、  
振込先/播州信用金庫 船場支店 (普)8977591 特定非営利活動法人 歴史と出会うまちづくり船場城西の会

(船場城西の会 HP スマホ用リンク・QRコード) ⇒



船場城西の会 HP





# 船場・城西－温故知新

毎号に少しずつですが、昔の船場、城西の景観や歴史等の資料を掲載しながら紹介していきます。  
今は修復された姫路城が注目されていますが、姫路はお城だけではなく、他にも多くの歴史が詰まった街です。  
私たちの街の昔のいろいろなことがわかると、今の街並みをもっと輝いて見えてきますよ。

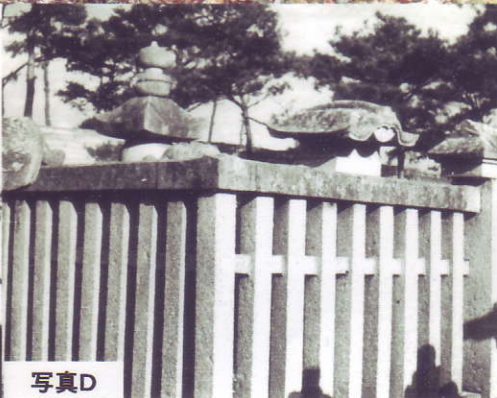
シリーズ②景福寺山



写真A



写真C



写真D



資料B

景福寺山は姫路城の南西約 500mにある山です。その山にある史跡を紹介します。写真Aは、山頂にある姫路城主「松平明矩(あきのり)」(資料 B)の墓所です。残念ながらその墓所は現在、写真の通り五輪塔や墓碑銘こそかろうじて残っているものの、荒れ果てた状態です。しかし、以前は写真Cや D(年代不明)の通り、りっぱな瓦屋根の土塀と石柵が残っていました。

この墓所について、姫路城主で姫路に墓石があるのは、一人を除き書写山、あるいは増位山にあり、そこは観光案内等でも紹介されよく知られています。この「松平明矩(あきのり)」の墓石だけが、景福寺山にあり、それに関する情報は殆ど発信されず、地元の人でさえ知る人は僅かです。なぜでしょうか？  
「松平明矩(あきのり)」は、城主在任中の36才(1748年)で死去しましたが、藩の財政窮乏のため、凶作にもかかわらず、厳しい年貢の完納を強制したため一揆まで発生したほどでした。そのため領民から嫌われ、埋葬を書写山からも謝絶されたかもしれないという記述が「姫路城史」に書かれています。また近年の歴代姫路城主のランキングでは、「松平明矩(あきのり)」はワースト2という結果になっていました。そのあたりが、今もよく整備され威容を誇っている書写山円教寺や増位山隋願寺にある姫路城主の墓所との違いの原因と思われる。

景福寺山には、この墓所だけでなく、姫路城の無血開城のきっかけとなった討幕派岡山藩が大砲攻撃した場所(その場所からの姫路城の眺めはすばらしく、隠れビュースポットです)や、江戸時代の多数の姫路藩士の墓碑等の史跡があり、姫路の歴史を感じる貴重な場所です。

山への上り口は景福寺の裏手(北側)にあります。長年この山は十分な整備がされず、草木がうっそうと生い茂っていましたが、数年前より整備が進み、山頂への道は上りやすくなっています。姫路の中心地に近いところに、当時の雰囲気を残したこんなミステリーゾーンがあったのかとを感じる場所です。

- ※ ・写真A: 松平明矩墓所(2015/1/25 撮影 当会清掃活動)
- ・資料B: 松平明矩尊影/姫路市教育委員会蔵 橋本コレクションより
- ・写真C、D: 兵庫県歴史博物館蔵 高橋コレクションより

(地図上の景福寺山  
スマホ用リンク・QRコード) ⇒

